

東上総教育事務所だより



東上総教育事務所
シンボルマーク



千葉県教育庁東上総教育事務所
〒297-0024 茂原市八千代2-10
TEL0475-23-8125
第3号(令和8年10月7日)

管理課より

教職員人事評価制度は「千葉県市町村立学校教職員の人事評価に関する規則」に規定されており、学校現場において毎年、確実に実施されているところです。制度の概要を振り返り、適切に人事評価を行えるよう再確認しましょう。

(1) 人事評価制度の目的 ※千葉県教育委員会HP人事評価制度のリーフレットから抜粋

教職員の能力開発及び人材育成

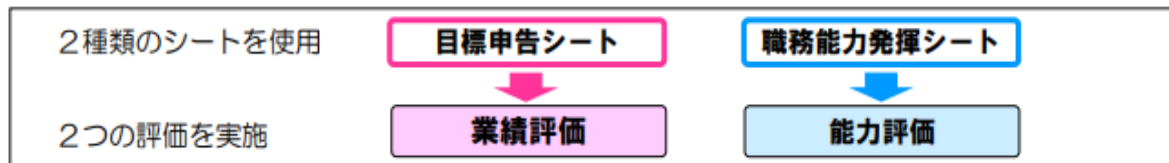
- 教職員一人一人の職務上の役割を明確化
 - 目標達成に向けた主体的取組
 - プロセスを含めた結果を適正に評価
- ↓
- 教職員一人一人の能力や資質の向上
 - 評価結果を活用し、教職員一人一人の特性に応じた能力開発及び人材育成

学校組織の活性化

- 教職員一人一人の職務上の目標と学校教育目標（重点目標）との繋がりの明確化
 - 目標を学校全体で共有
- ↓
- 教職員が協力し、意欲や連帯感の醸成と学校組織の活性化



(2) 評価の方法 ※千葉県教育委員会HP人事評価制度のリーフレットから抜粋



(3) 事務所計画訪問から

各学校に訪問した際、目標申告シートにおいて再度確認を促すことが多い箇所

- ・在職年数の誤り
- ・学校の重点目標と職員が設定する目標に繋がりが見えない。
- ・職員の設定する目標に対しての具体的な手立てがない。

職員との対話を通して、学校教育目標の共有を図り、各々の目標に対する助言をすることが大切です。

指導室より

各教科等における障害のある児童生徒への配慮

学習指導要領には「障害のある児童生徒」への配慮についての事項が記載されています。障害のある児童生徒などの指導に当たっては、個々の児童生徒によって、見えにくさ、聞こえにくさ、道具の操作の困難さ、移動上の制約、健康面や安全面での制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集中を持続することが苦手であることなど、学習活動を行う場合に生じる困難さがあります。それらに留意し、個々の児童生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することを、各教科等において示しています。参考にしてください。

小学校 国語科の工夫(例)

読むことへの支援

- ・拡大教材やスリットの活用
- ・分かち書き行間の工夫



表現方法の選択

- ・ICTや文字での発表も可
- ・自信をもって表現できるように



中学校 社会科の工夫(例)

動機付けの場面の支援

- ・写真・発問の工夫で課題を見だしやすく



情報収集・考察場面の支援

- ・ヒントカード付きワークシートでの観点で考えるかを明確に

考える観点(ヒント)

- ・原因は?
- ・特色は?
- ・関係は?
- ・影響は?



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センターが通常の学級における「教科指導上の個に応じた配慮」のリーフレットを作成しています。

教科指導上の個に応じた配慮の観点

- | | | |
|-------------------|-----------------------|---------------------------|
| その子にも
わかりやすい授業 | 多様な学習ニーズに
応じた授業の展開 | 発達障害の特性・支援
と結びつけた指導・支援 |
|-------------------|-----------------------|---------------------------|



各教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないよう留意するとともに、児童生徒の学習負担や心理面にも配慮する必要があります。

指導室より

まずはお気軽に御連絡ください！

社会教育の推進に向けて

学校と地域をつなぐ

「学びのパートナー」に御相談ください！

社会教育主事

(当教育事務所)がサポートします！



相談・お話しできるテーマ (例)

1 コミュニティ・スクールの充実



- 協議会の運営や活性化の工夫
- 地域人材の効果的な活用
- 熟議の進め方や事例の紹介

2 家庭教育支援の充実



- 保護者の学びの機会づくり
- 講師の紹介
- 関係機関・団体との連携

3 子ども読書の推進



- 千葉県の施策等の説明
- 読書活動の事例の紹介
- ボランティアとの連携

4 その他、社会教育に関すること



- 地域とのつながりづくり
- 研修会や事業の紹介、情報提供
- 社会教育関係団体との連携・協力

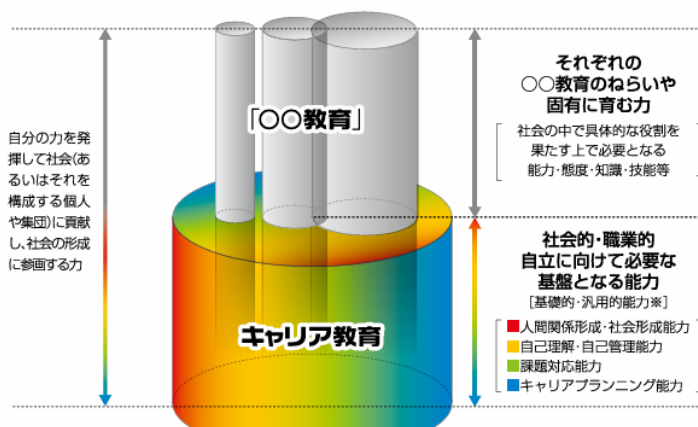
自分らしい

生き方を支える

キャリア教育

Point

キャリア教育と「〇〇教育」との共通部分に注目してとらえる



出典:キャリア教育をデザインする「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」(文部科学省)

8月27日(木)中学校キャリア教育・進路指導研究協議会を開催いたしました。

流通経済大学の藤田駿介先生を講師に招き、「キャリア教育の視点に立ったカリキュラム・マネジメントの推進」をテーマに御講話いただき、学校全体での推進に向けた示唆を得る貴重な機会となりました(右写真)。後半は「キャリア教育全体計画と年間指導計画からのカリキュラム・マネジメントの進め方」についてグループ協議を行い、各校の取組や課題を活発に共有しました。発表内容の一部を紹介します。



- 職場体験学習と将来を結び付ける視点を重視し、適切なタイミングでの振り返りを行いたい。
- 全体計画・年間計画を見直し、今ある活動を更に充実させたい。

- 基礎的・汎用的能力の育成を目指し、特別活動を要しながら各教科等での指導を工夫していきたい。
- 小学校での学びや大切にしてきたことを振り返る機会を設定したい。

研究協議会の終わりには千葉県総務部人事課の方による「千葉県職員採用選考(県内工業高等学校等推薦枠選考)」についての説明がありました。

藤田先生、御参加いただいた先生方、ありがとうございました。

二次元コード
はこちら

